

市議会の新体制がスタート

5月16日に行われた5月臨時会において、議長に丸山勝総議員が、副議長に古川原直人議員が選出されました。

このたび、歴史と伝統ある長岡市議会議長に選任いただきました丸山勝総です。大変身に余る光栄であり、身の引き締まる思いであります。

長岡市は三度にわたる市町村合併により、合併前と比較して一般会計が2倍の約1,500億円、面積が34倍の約891km²、人口が14倍の約27万4千人となりました。一方、議員の定数は合併前の193人から34人と5分の1以下となりました。合併により市域が広がり市長の権限が拡大した今日、合議制の議決機関である議会の役割と責任はますます重要になり、これまで以上に「議会の活性化」と「議会機能の強化」並びに「市民に開かれたわかりやすい議会」が求められております。我々議員34人は、多くの市民の負託を受け、議会活動をさせていただいております。歩む道は34通りあれども、目指す頂は皆同じ「長岡市の発展・市民の福祉の増進」であります。今後も二元代表の一翼として、活力ある長岡市議会を目指すとともに、議員同士が互いの意見を尊重しながら、今までの以上に自由闊達な議論と円滑な議会運営に全力で取り組みさせていただきます。



議長 丸山勝総

皆様のご協力を心よりお願いいたしまして、就任のあいさつとさせていただきます。

このたび、5月16日の臨時議会において、旧寺泊町との第2次合併から12年目、歴史と伝統ある長岡市議会議長に就任させていただきました古川原直人です。その責務の重大さを痛感するものでありますが、幸いに人格識見ともに卓越され、議長を一度経験された丸山勝総議長のもとで、町職員時代を含め行政経験52年の知力の限りを尽くして議長を補佐し、公正で活発な議会運営となるよう努力してまいります。



副議長 古川原直人

本市も少子高齢化の進行という大きな課題に直面しており、国を挙げて地方創生に取り組んでいます。東京一極集中に歯止めをかけるべきが見いだせないのが現状であります。加えて、少子化という難題が拍車をかけております。人口減少は将来に向かって経済をはじめ社会生活全般に悪影響を与える現象であり、今こそ、執行部側、議会側それぞれ権能こそ違えど、最終的に目指す方向は、市民の安全・安心の上に、住んで良かったまち、住み続けられるまちづくりであります。互いが知恵を出し、活発な議論のできる議会を目指し、一層の努力を尽くしてまいります。市民の皆様にもご協力をお願い申し上げます、就任のあいさつとさせていただきます。

5月臨時会・6月定例会

一般会計補正予算を可決

5月臨時会では、新しい議長、副議長を選出したほか、議会運営委員会及び常任委員会委員の選任が行われ、新議長のもと専決処分1件を承認したほか、監査委員の選任について同意しました。

また、6月定例会は6月8日から21日までの14日間の会期で行われ、平成29年度一般会計、特別会計の補正予算など市長提出議案等24件、委員会提出議案1件、請願1件を審議しました。

議案の審議結果については、5ページの会派別議案等賛否一覧表をご覧ください。

補正予算の概要

6月定例会

- 自主防災組織育成助成事業助成金 200万円
- 新たな米政策改革対策事業費補助金 428万2千円
- 私立認可保育所等施設整備費補助金 620万3千円
- 災害復旧事業費（融雪災害） 9,787万円 など

〈目次〉

補正予算の概要、議会活性化特別委員会の設置、議員表彰	1
一般質問	2
特別委員会の中間報告、監査委員の選任、新しい委員の選任	4
常任委員会の所管に関する質問、会派別議案等賛否一覧表、意見書	5
市議会の活動状況、政務活動費収支報告など	6

3年ぶりに議会活性化特別委員会を設置

市議会では、市民目線に立った議会運営を図ることで、市民に開かれた議会、そして議会の更なる活性化の推進に努めてきました。そして、このたび、3年ぶりに設置した議会活性化特別委員会では、過去において合意ができなかった項目について、再度、検討を始めるとともに、新たな課題についても検討していくこととしています。議会活性化特別委員会は傍聴できます。月1回程度開催していますので、お気軽にお越しください。

議員表彰

全国市議会議長会及び北信越市議会議長会から、永年にわたり市政発展に尽くした功績が認められ、7人の議員が表彰されました。



(後列) 中村耕一議員 加藤尚登議員 関充夫議員
(在職10年以上)

(前列) 永井亮一議員 小坂井和夫議員 諸橋虎雄議員 丸山広司議員
(在職10年以上) (在職30年以上)



大竹 雅春 議員 (1期・市民クラブ)

保育園をめぐる諸課題について

公立保育園の民営化の検証と今後の方向性について伺う。

平成29年4月に民営化した2園については、各法人により円滑に運営されている。これは職員が交代することによる児童や保護者の不安解消、また園と地域のつながりを継続するため、丁寧に実施してきた引き継ぎ保育などの様々な取り組みの成果と考えている。よって現時点では民営化を推進することに支障はないと考えており、引き続き保護者等の意見を聞く機会を設け、検証を行いながら今後につなげていきたい。

保育の質を上げるための子育て支援員研修制度の検証と

保育園版「教員サポート錬成塾」の実施に対する本市の考えを伺う。保育の質を上げるための施策として、本市は児童の発達や健康等について体系的に学ぶ研修を行っており、昨年度は子育て支援員として203人を認定した。多くの支援員が保育園や子育て支援センターなどで活躍していることから、今後も同様の研修を実施するとともに、フォローアップ研修も新たに実施する予定である。また、保育園版「教員サポート錬成塾」では、経験豊かな元園長が各園を巡回し、保育士の資質や指導力向上のためのアドバイスを行っている。さらに配慮を要する児童に対しては、保育士や心理士などで構成することもすこやか応援チームが市内全園を回り、アドバイス等の支援を行っている。今後もこれらを充実させ、保育の質の向上に努めていく。



笠井 則雄 議員 (5期・共産党市議団)

子どもの貧困対策について

子どものいる世帯の状況調査アンケートを行い、貧困対策整備計画を作成することが喫緊の課題と考えるが、本市の方針を伺う。

本市では、子どもの貧困対策として、長岡市子育て・育ちあいプランで、子どもの貧困対策を推進する項目を設けているが、このプランは平成31年度中に改定することとしており、この改定に向けて、来年度には子どものいる世帯の状況調査を行いたいと考えている。

子どもや高齢者の防犯対策について

児童館やコミュニティセンターなどの施設入口の防犯カメラ設置は、防犯対策に有効と考えるが、本市の考えを伺う。児童館やコミュニティセンターは、犯罪防止と検挙の両面において非常に有効と考えるが、それ以上に日ごろからの地域住民による見守りや声掛けなど地道な活動が重要であると考えている。本市では、町内会の活動などを通じて培ってきた地域コミュニティが形成されているため、住民と行政、警察、その他関係機関との連携により防犯力はさらに高まると考えている。



服部 耕一 議員 (1期・共産党市議団)

買い物弱者対策について

本市における買い物弱者の現状認識と対策の方向性を伺う。

中山間地だけでなく、都市部でも日常の買い物に不便さを感じている方が相当数いることは承知している。このような状況の中、民間事業者による高齢化社会に対応したサービスが増えたり、電話やインターネットを使った宅配サービスなどを展開している。一方、公的な面では、交通施策の観点から、NPO法人によるコミュニティバス運行のほか、公共交通空白地域におけるデマンドタクシーの実証実験を行う予定である。福祉施策の観点では、社会



広井 晃 議員 (2期・市民クラブ)

子どもの食物アレルギーについて

子育て支援と同様に親子に対する支援が必要と考えるが、本市の考えを伺う。

よって、まずは地域での防犯活動を基本とし、関係機関との連携による防犯対策に取り組んでいく。

図書館機能の充実について

市立学校への学校司書配置については、市単独予算で対応し、担任との連携を強め、学校図書館機能の向上を図る時期と考えるが、本市の考えを伺う。学校図書館法により、現在市内12学級以上の全ての学校に司書教諭が配置されている。司書教諭は、学校内での図書館運営のリーダーとして他の教職員と協力して図書館運営に当たっている。また、ブックランドサポーターやボランティアと連携し、子どもたちの読書活動の推進や充実した図書館の活用を実現している。子どもたちの教育活動には学校図書館の役割が非常に重要であり、引き続き学校図書館機能の向上を図るべきであると考えている。



加藤 尚登 議員 (3期・市民クラブ)

武力攻撃事態等における長岡市の国民保護対応について

Jアラート(全国瞬時警報システム)はどのようなときに発出され、どのような方法で市民に周知されるのか伺う。

Jアラートは、弾道ミサイル情報、津波情報、緊急地震速報など、時間的猶予のない事態に関する情報を、国が衛星回線により各自治体へ伝達するシステムである。国からJアラートにより弾道ミサイル発射等の緊急情報が発出されると、本市では、緊急告知FMラジオが自動起動し、市民に緊急情報を伝達する体制になっている。また、スマートフォンなどの携帯電話へ緊急速報メールや



関 充夫 議員 (3期・しん長岡クラブ)

長岡市公共施設等総合管理計画について

本市における施設の総量削減のための複合化・集約化の方向性を伺う。

また、異なる部局間での施設の複合化・集約化にあたっては、副市長をトップとする検討組織で十分検討し、部局間の調整をしっかりと図っていく。

エリアメールにより、緊急情報を配信し市民へ周知していく。 交流人口の拡大策について 開府400年を契機として、長岡藩牧野家ゆかりの都市との交流をどのように進めていくか本市の考えを伺う。 開府400年記念事業では、交流人口の拡大を事業の柱の一つに掲げている。長岡藩牧野家ゆかりの都市との交流については、これまでも豊川市のようなごうじ祭への参加や小学校同士の交流を行っているほか、会津若松市の会津まつりや前橋市の大胡城牧野氏まつりへの参加などお互いの交流を継続している。 これらの交流を通して、来年度の開府400年を契機に、歴史的にゆかりのある国内都市と更なる交流の絆を深めていきたい。 ●その他の質問 人権意識向上に向けた施策について

1 こどもすこやか応援チーム：保育園・幼稚園・認定こども園を利用している子どもの、成長や発達・就学についての心配ごとを相談できる相談機関で、スタッフが園を訪問し、園並びに保護者に対する相談・支援を行っている。 2 ブックランドサポーター：学校図書館の有効活用をさらに進めるため、平成25年度から市独自で有償ボランティアとして派遣している司書又は司書教諭の免許保有者のことで、各校の司書教諭を補助する業務を担う。 3 除却債：平成26年度に創設された、公共施設等の除却に対して発行できる特別な地方債のこと。長岡市公共施設等総合管理計画に基づいて行われる事業が対象となる。



桑原 望 議員 (4期・無所属)

教育のICT化について

特別支援教育におけるICT技術の活用について、本市の現状と今後の考えを伺う。

特別支援教育が必要な子どもにとって、ICT機器は重要なツールになると考えている。既に本市では書くのが苦手な子どもにもパソコンやデジタルカメラを用いて書く負担を軽減し、読むのが苦手な子どもにも音声で読み上げてくれるソフトを使ったりと、多様な学び方を保障している。昨年度は、すべての特別支援学級に一台ずつタブレット型パソコンを配置した。このパソコンには様々な教材が入っており、学習の理解をサポートしている。また、タッチパネル

も使用でき、手や指の機能が不十分な子どもも活用できている。今後も、更なる支援の充実を目指し、ICT機器の活用を積極的に進めていく。

地区防災計画について

地区防災計画の作成実績と計画に対する本市の考えについて伺う。

現在、自主防災会などが地区防災計画を作成した実績はないが、各地域において、自主防災活動アドバイザー制度や防災よろず相談の活用等により、防災訓練の計画・実施、避難をする時に助けが必要な方の支援計画作成や防災マップ作成ワークショップ等、地域の実情に応じた防災力向上の取り組みが進められている。本市としては、現在の自主防災会の取り組みに加えて、地区の実情・特性を踏まえた住民主体による地区防災計画の作成は、地域の防災力強化につながる大変有効な手法と考えている。



中村 耕一 議員 (3期・長岡市公明党)

観光政策を通じた地方創生について

日本版DMOの県内の取り組み状況と本市の認識について伺う。

県内においては東北各県と新潟県が連携する東北観光推進機構など、いくつかの団体が正式なDMOの候補となる法人として認定されている。また、本市としても、観光の総合的な取り組みを進める中で、経営の視点に立った観光地づくりのかじ取り役を担う組織の必要性は今後高まると認識している。

観光戦略プランの策定をどのよう

に地方創生に結び付けていくか、本市の考えを伺う。

地域の稼ぐ力を引き出す観光の重要性は認識している。とりわけ地域の稼ぐ力を引き出し、民間の力を最大限に活用するという観点が必要ならば地方創生の推進にはつながらないと考えている。昨年、与板にオープンした中川清兵衛記念BQビル園はこのような観点から地元、関係者、行政で考えながら始めたものであり、今後も同様に取り組んでいく。また、観光戦略プランについては、データ分析を行いながら、経営の観点を基本に戦略性のある政策をつくらせていきたい。



諸橋 虎雄 議員 (4期・共産党市議団)

高齢者の基幹病院への通院など公共交通網の拡充について

公共交通の代替手段として見附市で実施しているコミュニティ自動車への地域団体への無償貸与について、本市での導入の可能性を伺う。

コミュニティ自動車の貸与制度について見附市に確認したところ、地域住民の移動手段の確保と地域の活性化を図ることを目的に、町内会等の団体に対し所有の自動車を無償で貸与するというもので、地域住民は無料で利用できることである。一方、見附市ではコミュニティバスやデマンドタクシーも運行さ

れていることから、コミュニティ自動車との調整も必要であると感じている。

本市としても、運転手の継続的な確保や万が一事故が起きた場合のリスク、あるいは他の交通手段との重複など、総合的に比較し活用の可能性について研究していきたい。

支所地域から長岡地域へ的高齢者等のバス運賃の軽減について、本市の考えを伺う。

現在、高齢者の通院に対しては所得の低い方を対象にした、社会福祉協議会の福祉送迎サービス事業などがある。バス運賃の軽減については、幅広い観点から検討していくべき課題であると認識している。



細井 良雄 議員 (3期・共産党市議団)

長岡市の農業政策について

本市が目指す今後の米生産の方向について伺う。

本市の農業は圧倒的に稲作主体となっており、今後も稲作を中心とした農業が、重要な産業の一つとして進展していくと認識している。そのため、産業として持続性のある農業、中山間地を中心とした農業をなりわいとする農村集落の維持など、地域で暮らし続けることのできる農業を目指すことが重要であると考えている。

また、3大学1高専や県の農業総合研究所等が本市に立地しているという恵まれた環境を生かし、未来を見据えた新しい価値の創造

と農業の革新、いわば長岡版農業イノベーションを進めていきたい。そして、農業分野こそが技術革新、イノベーションの対象として最も導入の可能性があり、効果も高いという指摘もあることから、これらの実現に向けた生産者等の頑張りや新しい取り組みを今以上に後押ししていきたい。

本市が目指す米生産への政策展開について伺う。

主食用米の消費減少が進む中での生産流通戦略として、ニーズのある業務用米や新規需要米への転換と併せて、コストの低減、生産の効率化、生産性の向上を基本として、生産者等と一体となって取り組んでいく。

また、人材戦略として、高度な企業的经营感覚を持つ担い手の育成と、それに向けた新たな人材の確保を図りつつ、これらの担い手を中心とした農業構造づくりに取り組んでいく。



田中 茂樹 議員 (1期・市民クラブ)

長岡市の教育について

これからの時代の学力について本市の見解を伺う。

これからの時代に必要な学力は、生きて働く知識や技能、そしてそれらを活用して今までの経験したことがないような未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力や行動力、そして自ら課題を見つけて解決していく意欲、自己有用感や感性など人間性を含めた総合的な力であると考えている。本市が進めている「熱中！感動！夢づくり教育」は、まさにこれからの時代に向けた学力を育むものであると考えており、今後も学校、家庭、地域、行政がこの思いを共有し、協働の取り組みを進めてい

きたいと考えている。

教育効果を高めるための取り組みが地方創生につながるものと考えているが、本市の見解と具体的な取り組みについて伺う。

教育効果を高める取り組みとして、数学アカデミーなど約80の熱中！感動！夢づくりプログラムを実施している。また、各学校が自校の児童・生徒の実態を把握して特色ある教育活動を行うことを財政的に支援する学校・子どもかがやき塾事業や、教員の資質向上と人間性の向上を目指す教員サポート錬成塾などにも取り組んでいる。

教育によってまちづくりを担う人材を育てるといふ米百俵の精神を大切に、ふるさと長岡への愛着と誇りを持ち、内外から長岡の将来を担う柔軟でたくましい人材を育成したいと考えており、こうした教育の充実、向上への地道な取り組みこそが、ひいては地方創生につながるものと考えている。



関 貴志 議員 (5期・無所属)

柏崎刈羽原発の再稼働問題について

「市民の不安が解消されない限り原発は再稼働すべきではない」との市長の公約は、従来の方針よりも慎重・反対という厳しい方向に踏み込んだと受け取っている。前市政との取り組みの違いについて伺う。

本市としては、原発の安全確保と市民の不安を解消することが何より重要であると考える。そのため、今後も国・県・事業者の動向をしっかりと見極めて、適切に判断し対応していきたいと考えている。取り組みの方向性は大きく変わっていない。そのことを踏まえ、取り組みの結果として、同じ点が出ることもあれば

相違点も出ると考えている。

公約の実行性を担保するた

め、本市の同意なしに再稼働しないことや、本市を地元とみなすことなどを、主体的かつ積極的に国・県・事業者に求める必要があると考えるが本市の考えを伺う。

再稼働については、国は地元との理解と協力を得ることが大切であり、地域の実情に応じてよく相談して対応することが重要として、柏崎刈羽原発は国による適合性審査が続いており、県知事は福島第一原子力発電所の事故に関する三つの検証が徹底的にされない限り再稼働の議論は始められず、その検証には数年かかると明言している。さらに、県の広域避難計画も策定されていないことから、現時点では手続を含めて再稼働の議論ができる状態ではないと考えている。

*4 日本版DMO: Destination Management / Marketing Organization (デスティネーション・マネージメント/マーケティング・オーガニゼーション)の略。多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地づくりの実現や戦略を着実に実施するための調整機能を備えた、観光地づくりのかじ取り役を担う法人のこと。
*5 業務用米や新規需要米: 飲食店などでの外食やスーパー、コンビニの弁当などの業務用の目的で使用される米を業務用米といい、消費者ニーズを受けて一般的には中・低価格帯の銘柄が好まれている。また、輸出用米、加工用米、飼料用米など、国内主食用米以外の用途に使用される米を新規需要米という。

特別委員会の活動を報告します

(6月定例会において各委員長から報告された中間報告の要約です。)

克雪・危機管理・防災対策特別委員会

昨年11月21日及び今年6月13日に会議を開き、理事者から道路除雪計画や原子力安全対策などに関する取り組みについて説明を受けました。



栃尾支所に設置されたモニタリングポスト

今冬の降雪状況は、前年度を上回る降雪累計を記録した地域もありましたが、長岡地域の降雪累計としては前年度をさらに下回る小雪の年でした。平成28年1月の集中豪雪の教訓を生かした対応策がまとめられたこともあり、市民生活に大きな支障が出ることはありませんでした。

また、原子力安全対策における市の取り組みとして、栃尾地域に新たなモニタリングポストを整備したことなどの説明がありました。

今後も市民の安全・安心を確保するため、当委員会は理事者とともに災害に強いまちづくりに向けて取り組んでいきます。

大河津分水・長岡東西道路整備推進特別委員会

昨年からの会議に引き続き、今年2月14日、15日には、大河津分水路改修事業完了後の河口部を再現した施設などを視察し、見識を深めました。

大河津分水路改修事業については、今年度は引き続き用地取得などを促進するとともに、野積橋架け替え工事と山地部掘削に着手する予定です。長岡東西道路については、フェニックス大橋の開通により、信濃川にかかる市内橋梁の交通渋滞の緩和が実現しています。また、フェニックス大橋東詰の宮内大橋が今年5月9日に開通し、より円滑な交通が確保されました。これらの整備効果をさらに発揮するためには一日も早い国道17号への接続が必要です。



宮内大橋開通のテープカット

当委員会としても両事業の早期完成に向け、今後関係機関とともに努力していきます。

まちづくり・新エネルギー対策特別委員会

昨年11月21日以降会議を開き、理事者から大手通表町東地区の再開発について説明を受けるとともに、中心市街地のまちづくりについて協議を重ねてきました。



まちなかで定期的に行われている五・十の市

中心市街地全体のこれからのまちづくりとして、回遊性の更なる向上のための官民一体となった魅力あるまちづくり、誰もが訪れやすい交通環境の整備などを提案しました。大手通表町東地区の再開発については、米百俵の精神が生まれた国漢学校の跡地に相応しく、長岡の未来を支える人づくり・学びの拠点として整備することなどを提案としてまとめました。

人口減少対策特別委員会

昨年6月定例会での中間報告後に引き続き、今年1月20日には首都圏におけるU・Iターンの相談体制や情報発信などについて現状を視察してきました。

そして、産業振興と雇用創出に着目し、今年6月2日の委員会において、後継者不足に悩む事業者が継業について相談・協議できる場を「仕事バンク(仮称)」として整備し、今まで以上に継業のマッチングを支援することについて提案をまとめました。

当委員会は、長岡市が市民や関係団体と手を取り合い、一丸となって人口減少対策に取り組み、実効性のある事業を展開されるよう期待し今後も提案を行っていきます。



長岡駅東西自由通路に掲げられたU・IターンをPRする横断幕

問 県及び本市の地域防災計画に定める緊急輸送道路ネットワークのあり方を伺う。

答 県では、災害時において高速道路と国道及びこれらを連絡する幹線道路並びに行政機関や災害医療拠点などの防災拠点を連絡する道路について、代替性の確保やネットワーク形成を考慮しながら緊急輸送道路を指定しており、本市では高速道路、国道に加えて主要な県道が指定されている。

また、本市の地域防災計画の中で、さらに集落へのアクセスや備蓄拠点、輸送拠点などの防災拠点への連絡性やネットワークを考慮



五十嵐 良一 議員 (1期・民成クラブ)

問 複合災害等に備え、安全に避難できる広域幹線道路の整備が必要と考えるが、本市の考えを伺う。

答 二度の震災や水害、さらには豪雪と多くの災害を経験してきた本市にとって、災害時の道路の重要性については十分認識している。平成25年に開通した長岡東西道路や左岸バイパス、また都市計画道路横山町亀貝線なども防災上重要な道路と考え、これまで整備に取り組んできた。

市民の安全・安心を確保するため、今後も災害の発生に備えて代替路確保や効果的なネットワークの形成に向け、左岸バイパスの南北延伸など、広域幹線道路の整備にしっかりと取り組んでいきたい。

しながら、主に幹線市道を緊急輸送道路に指定している。これらの緊急輸送道路は、災害時においては道路復旧や障害物の除去を行い、早期の通行を確保することとしている。

議会中継が見やすくなりました!

- ①Mac、スマートフォン、タブレット等で視聴可能になりました。
- ②録画中継にかかるホームページ画面での検索機能が追加されました。
 - ・開催日、会議名、発言者名のドロップダウンリストによる検索が可能
 - ・開催年を選択することで一覧のスクロールの手間を省略
- ③YouTubeで視聴可能になりました。



監査委員を選任

5月臨時会において議会選出の監査委員を選任しました。



高野 正義 議員 (平成29年6月1日就任)

新しい委員を選任しました

5月臨時会において議会運営委員会及び常任委員会の委員、6月定例会において特別委員会の委員の選任を行いました。

◎委員長 ○副委員長

特別委員会

克雪・危機管理・防災対策特別委員会

(定数8人 現員8人)
克雪、危機管理及び防災対策に関する調査

- ◎関 正史 ○諸橋 虎雄
- 五十嵐良一 高見 美加
- 丸山 広司 永井 亮一
- 長谷川一作 関 貴志

大河津分水・長岡東西道路整備推進特別委員会

(定数9人 現員9人)
大河津分水及び長岡東西道路の整備推進に関する調査

- ◎五井 文雄 ○小坂井和夫
- 山田 省吾 藤井 達徳
- 古川原直人 松井 一男
- 水科 三郎 笠井 則雄
- 高野 正義

議会運営委員会

(定数12人 現員12人)
議会運営に関連する事項を協議

- ◎丸山 広司 ○杵渕 俊久
- 池田 和幸 広井 晃
- 高見 美加 中村 耕一
- 加藤 尚登 山田 省吾
- 諸橋 虎雄 酒井 正春
- 加藤 一康 五井 文雄

常任委員会

総務委員会

(定数10人 現員9人)
総務部、財務部、消防本部などに
関連する事項を審査

- ◎松井 一男 ○五十嵐良一
- 服部 耕一 大竹 雅春
- 広井 晃 関 充夫
- 中村 耕一 丸山 広司
- 山田 省吾

文教福祉委員会

(定数8人 現員8人)
福祉保健部、教育委員会などに
関連する事項を審査

- ◎永井 亮一 ○池田 明弘
- 田中 茂樹 高見 美加
- 加藤 尚登 諸橋 虎雄
- 酒井 正春 小坂井和夫

まちづくり・新エネルギー対策特別委員会

(定数8人 現員8人)
まちなか、支所地域の振興及び
新エネルギー政策に関する調査

- ◎酒井 正春 ○細井 良雄
- 荒木 法子 田中 茂樹
- 池田 明弘 大竹 雅春
- 関 充夫 加藤 一康

人口減少対策特別委員会

(定数8人 現員8人)
人口減少対策、少子・高齢対策、
産業振興及び雇用創出に関する調査

- ◎杵渕 俊久 ○中村 耕一
- 池田 和幸 服部 耕一
- 深見 太朗 広井 晃
- 加藤 尚登 桑原 望

議会活性化特別委員会

(定数10人 現員10人)
市議会の活性化に関する
調査・検討

- ◎丸山 広司 ○山田 省吾
- 池田 和幸 高見 美加
- 関 充夫 中村 耕一
- 加藤 尚登 笠井 則雄
- 加藤 一康 五井 文雄

産業市民委員会

(定数8人 現員8人)
市民部、環境部、商工部、農林水産部などに
関連する事項を審査

- ◎長谷川一作 ○水科 三郎
- 深見 太朗 細井 良雄
- 藤井 達徳 関 正史
- 高野 正義 加藤 一康

建設委員会

(定数8人 現員8人)
都市整備部、土木部、水道局などに
関連する事項を審査

- ◎笠井 則雄 ○池田 和幸
- 荒木 法子 杵渕 俊久
- 古川原直人 桑原 望
- 関 貴志 五井 文雄

6月定例会 常任委員会の所管に関する質問

各常任委員会では、議案審査のほかそれぞれ担当する事業等について質問する「所管事項に関する質問」を行っています。ここでは、質問の一部を掲載しています。詳しくは会議録、インターネット録画中継をご覧ください。

総務委員会

- 若者の投票率向上のため期日前投票所の大学への設置検討に対する考え
- 開府400年記念事業をオール長岡で盛り上げていくための取り組み
- 長岡の魅力を発信するためのふるさと納税を活用した今後の取り組み
- 指定管理者制度の活用による新しい市民サービスの提供
- マイナポータルを利用した行政サービスのプッシュ通知（お知らせ機能）に対する考え
- まちなかの公共施設の集約・複合化や未利用地の売却における新たなサービスや機能の導入を目的とした民間力の活用
- 防災行政無線のデジタル化に向けた整備の検討
- 市役所の正規職員数と非正規職員数構成割合の現状と適正配置の検討 など

文教福祉委員会

- 長岡市SNSセーフティプログラムの目的と今後の取り組み
- 老人クラブの活動の推進や活性化に向けた支援の必要性
- 保育園の給食の完全米飯化と米飯給食の実施回数に対する考え
- 学校教育における教育勅語の取り扱いに対する教育委員会の考え
- 介護保険施設の人材確保に対する取り組み状況
- 部落差別解消推進法の施行による同和教育への積極的な取り組みの必要性
- 母子健康手帳のデジタル化とクラウド管理の導入に対する考え など

産業市民委員会

- 長岡市勤労者福祉サービスセンターの事業の周知及び会員拡大活動に対する支援
- 支所地域の集落維持支援におけるコミュニティセンターの役割
- 特殊詐欺対策のための取り組みと通話録音装置の拡充に対する考え
- 日本農業遺産に認定された「雪の恵みを活かした稲作・養鯉システム」を守り価値を高めていくことに向けた取り組み
- 省エネルギー設備等設置事業補助金制度改正の関連団体への事前周知及び今後の方向性
- 新規就農者を継続して農業に定着させるための総合的な支援策 など

建設委員会

- 上越新幹線の乗入れが効果的と期待される新潟駅から新潟空港までのアクセスの今後の取り組み
- 信濃川右岸堤防道路の最下流区間完成後の状況と今後の予定
- 放置自転車の撤去から処分までの取り扱い
- 空き地の利用促進に向けた「空き地バンク」制度創設に対する考え など

各種行政委員の選任・推薦に同意

6月21日の本会議最終日において、農業委員会委員24人（新任5人・再任19人）を選任することに同意しました。また、次の方を人権擁護委員に推薦することに同意しました。

- 人権擁護委員 **林 恵子 氏（新任）**
清水 正朋 氏（新任）

会派別議案等賛否一覧表

6月定例会

○：会派全員が賛成 ×：会派全員が反対

議案等	会派名 ()は所属議員数							議決結果	
	市民クラブ (16)	しん長岡クラブ (5)	共産党市議団 (4)	民成クラブ (3)	長岡市公明党 (3)	無所属 A	無所属 B		
市長提出議案等	補正予算	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	平成29年度一般会計	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	平成29年度介護保険事業特別会計	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	条 例	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	一部改正	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	職員の退職手当に関する条例	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	学校使用条例 ほか3件	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	そ の 他	和解	○	○	○	○	○	○	原案可決
		町（字）の区域及び名称の変更	○	○	○	○	○	○	原案可決
		市道路線の認定、変更及び廃止	○	○	○	○	○	○	原案可決
二級河川の指定の変更		○	○	○	○	○	○	原案可決	
提出議案	契約の締結（上川西小学校） ほか4件	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	財産の取得（消防ポンプ自動車） ほか5件	○	○	○	○	○	○	原案可決	
	人事	○	○	○	○	○	○	同 意	
意見書	○	○	○	○	○	○	原案可決		
請 願	○	○	○	○	○	○	採 択		
30人以下学級の実現に関する意見書	○	○	○	○	○	○	原案可決		
30人以下学級実現に係る意見書の採択に関する請願	○	○	○	○	○	○	採 択		

会派別議員名簿（6月21日現在）

市民クラブ	丸山 広司	加藤 尚登
	高見 美加	池田 和幸
	広井 晃	荒木 法子
	田中 茂樹	深見 太郎
	大竹 雅春	古川原直人
	松井 一男	長谷川一作
	関 正史	酒井 正春
	高野 正義	五井 文雄
しん長岡クラブ	山田 省吾	杵淵 俊久
	関 充夫	永井 亮一
	水科 三郎	
共産党市議団	笠井 則雄	諸橋 虎雄
	服部 耕一	細井 良雄
民成クラブ	加藤 一康	五十嵐良一
	小坂井和夫	
長岡市公明党	中村 耕一	池田 明弘
	藤井 達徳	
無 所 属	A 桑原 望	
	B 関 貴志	
	C 丸山 勝総（議長）	

5月臨時会

市長提出議案	専決処分	市税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	承認
	都市計画税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	承認
	平成28年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	承認
人事	監査委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	同 意

6月定例会で可決した意見書

市民生活に重要なことで、それが国や県の仕事である場合、市の力では解決できないことがあります。このようなときには、関係機関に「意見書」を提出して、積極的な解決を求めています。全文は市議会ホームページをご覧ください。

30人以下学級の実現に関する意見書（要旨）

子どもたち一人一人が大切にされ、豊かな人間関係の中で教育が行われることは保護者、地域住民、教職員共通の願いです。そのためには、小・中学校の全学年における30人以下学級の実現が不可欠となります。将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要です。未来への先行投資として、子どもや若者の学びを切れ目なく支援し、人材育成・創出から雇用・就業の拡大につなげる必要があります。

よって、政府におかれては、政府予算編成において次の事項が実現されるよう、強く要望します。

- 1 少人数学級を推進すること。その際の学級規模は、OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、30人以下とすること。（送付先）内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

市議会の活動状況



トリアー市議会との意見交換会

6月23日～28日 ドイツ・トリアー市及び英国ロンドン市を訪問

トリアー市との姉妹都市締結10周年を記念し、両市の更なる交流を深めるため、長岡市の公式訪問団の一員として丸山勝総議長を含め6人の議員がドイツ・トリアー市を訪問しました。6月24日には長岡市・トリアー市両議会議員による意見交換会が開催され、今後の両市の交流や課題などについて協議し、大変有意義な訪問となりました。

また、6月26日には、昨年10月から長岡市の火焰型土器が展示されている大英博物館を訪問し、ニコル・ルマニエール学芸員から展示品について説明を受けました。長岡市の火焰型土器は平成31年9月まで常設展示されることになっています。

5月		
8日	議会運営委員会	
5月臨時会	議会運営委員会	
	本会議	
	16日 総務委員会	
	産業市民委員会	
	建設委員会	
24日	人口減少対策特別委員協議会	
	まちづくり・新エネルギー対策特別委員協議会	
29日	まちづくり・新エネルギー対策特別委員会	
6月		
1日	まちづくり・新エネルギー対策特別委員協議会	
2日	議会運営委員会	
	人口減少対策特別委員会	
6月定例会(14日間)	8日 議会運営委員会	
		本会議(招集日)
	9日	本会議
	12日	本会議
		克雪・危機管理・防災対策特別委員会
	13日	大河津分水・長岡東西道路整備推進特別委員会
		まちづくり・新エネルギー対策特別委員会
	14日	建設委員会
	15日	産業市民委員会
	16日	文教福祉委員会
	19日	総務委員会
21日	議会運営委員会	
	本会議(最終日)	
7月		
10日	議会活性化特別委員会	
	総務委員会、建設委員会市内現地視察	
11日	まちづくり・新エネルギー対策特別委員協議会	
	文教福祉委員会、産業市民委員会市内現地視察	
14日	議員協議会	
8月		
4日	議会運営委員会	
	議会活性化特別委員会	
	人口減少対策特別委員協議会	
22日	まちづくり・新エネルギー対策特別委員協議会	

7月10日・8月4日 議会活性化特別委員会を開催

6月21日に設置した議会活性化特別委員会は、7月10日に第1回、8月4日に第2回の委員会を開催しました。今後の検討項目は、以下のとおりです。

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1 情報通信機器の活用 | 2 通年議会の導入 |
| 3 議会基本条例の制定 | 4 本会議のあり方 |
| 5 常任委員会・特別委員会のあり方 | 6 議員の調査・政策立案 |



議会活性化特別委員会の様子(第2回)

7月10日・11日 常任委員会が市内現地視察を実施

市議会では、議員の調査研究の一環として、毎年市有施設や民間施設などを視察しています。今年は7月10日に総務委員会と建設委員会が、11日に文教福祉委員会と産業市民委員会がそれぞれ合同で視察を行いました。

総務委員会・建設委員会(10日)

- 柿川放水路(幸町)
- 表町地区浸水対策事業(関東町)
- 長岡北スマートIC(上野町ほか地内)
- 長岡市交流・移住促進施設「たまり場八ちゃん」(小国町八王子)



建設中の柿川放水路で事業の説明を聞く委員

文教福祉委員会・産業市民委員会(11日)

- 匠の駅(鉄工町2)
- 与板鍛冶体験工房(与板町与板)
- みのわの里 工房ほたる(来迎寺)
- ゆにおんの杜(南陽保育園)(南陽1)



匠の駅で事業の説明を聞く委員

9月定例会の日程

5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	19	20	21	22	23	24	25
火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	火	水	木	金	土	日	月
議会運営委員会	本会議(招集日)	本会議(※)	本会議(※)	本会議(※)		文教福祉委員会	建設委員会	産業市民委員会	総務委員会	特別委員会	決算審査特別委員会	決算審査特別委員会	決算審査特別委員会	秋分の日		本会議(最終日) 議会運営委員会

本会議
・開 会 午後1時
・傍聴受付 午後0時30分からアオーレ長岡西棟2階(傍聴受付)にて
・定 員 65人、車いす席2人、親子傍聴席10人

議会運営委員会
・開 会 午前11時30分
・傍聴受付 午前11時からアオーレ長岡西棟4階(議会事務局)にて
・定 員 12人

その他委員会
・開 会 午前10時
・傍聴受付 午前9時30分からアオーレ長岡西棟4階(議会事務局)にて
・定 員 12人

(※)9月6日(水)～8日(金)の本会議は、一般質問者の人数により日程が短縮される場合があります。

平成28年度 政務活動費収支報告

(平成28年4月～平成29年3月)

政務活動費とは、議員の調査研究活動の充実を図るために、必要な経費の一部を補助するものです。長岡市では、議員1人当たり月額6万円を会派に交付しています(会派に属していない議員は、所属議員が1人の会派を結成しているものとみなして交付しています)。

また、本年度から平成28年度分以降の政務活動費について、収支報告書のほかに領収書等の証拠書類の写しもアオーレ長岡(東棟)3階の庶務課情報公開コーナーで閲覧等できるようになりました。証拠書類の写しの閲覧等には、届出が必要となりますので、庶務課職員にお声掛けください。

会派名	市民クラブ(16人)	しん長岡クラブ(5人)	共産党市議団(4人)	民成クラブ(3人)	長岡市公明党(3人)	無所属(桑原望)	無所属(関貴志)	無所属(関議長)	合計
収入の部									
政務活動費	11,400,000	3,600,000	2,880,000	2,160,000	2,160,000	720,000	720,000	720,000	24,360,000
雑入	40	6	6	2	6	1	6	1	68
合計①	11,400,040	3,600,006	2,880,006	2,160,002	2,160,006	720,001	720,006	720,001	24,360,068
支出の部									
調査研修(研究)費	7,813,203	2,357,482	470,140	675,425	1,247,346	35,240	336,519	450,081	13,385,436
広報広聴費	629,555	288,159	1,268,800	270,157	81,000	330,480	228,291	57,132	3,153,574
要請・陳情活動費	8,320	0	0	0	0	0	0	640	8,960
資料費	729,910	428,572	510,051	175,381	163,315	98,403	77,900	95,340	2,278,872
情報通信費	1,186,595	223,530	246,072	461,559	358,279	135,071	66,588	40,722	2,718,416
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務所費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事務費	1,032,420	302,263	240,731	577,480	310,066	19,295	10,708	76,086	2,569,049
合計②	11,400,003	3,600,006	2,735,794	2,160,002	2,160,006	618,489	720,006	720,001	24,114,307
収支差引残額①-②	37	0	144,212	0	0	101,512	0	0	245,761

※収支差引残額については、市に返還されます。雑入の内訳は、全て預金利息です。

